

まちづくり包括協定に基づくプロジェクトの進捗状況

		包括協定 締結	検討体制 公表	基本協定 締結	基本計画 策定	個別協定 締結
市町村 (包括協定締結日)	地区	検討体制整備段階	基本構想検討段階	基本計画検討段階	事業段階	
天理市 (H26.10.7)	櫛本 (天理団地周辺地区)	H27 (市) 検討体制整備	H28～ 基本構想検討(市) まち企画設計 (県)			
桜井市 (H26.12.22)	近鉄大福駅 (地域交通・歩道整備:市) (地域拠点整備(県住):県)			H27 (県) 基本計画検討 (桜井団地再生)	H28 (県) 基本設計 除却設計	
	桜井駅 (エルト桜井の再生) (駅前地域の再生)		H27 (市) 基本構想検討 (地域課題把握)	H28 (市) 基本計画検討 (エルト・駅前)		
奈良市 (H27.1.23)	平松		H27～ 基本構想検討			
病院マネジメント課との連携事業						
五條市 (H27.2.20)	中心市街地		H27 基本構想検討(市) 県住再生検討(県)	H28～ 基本計画検討		
ファシリティマネジメント室との連携事業						
御所市 (H27.8.4)	中心市街地 (駅前市有地活用) (商店街・御所まち再生)		H27～28 (市) 基本構想検討 (地域課題把握)			南部・東部地域集 落づくり支援事業 (コンサル派遣 等)により市町村 の検討を支援。
	県営・市営住宅集約化	H27 包括協定への追加 を視野に協議開始	H28 包括協定への追加 基本構想検討			

※赤字は平成28年度予算要求事項

- ## プロジェクトの概要

- ## まちのリニューアル

先導的な住宅モデル

今後のスケジュール

- ## 平成28年度事業内容

○県営住宅建替工事に係る基本設計

- ### ○県営住宅桜井団地第1期除却設計

○県営住宅桜井団地地質調査業務

市営住宅と県営住宅を活用したまちづくりの検討(御所市) 【県と市町村の共同建替によるまちづくりのモデル】

ポイント

- 御所市では、**全世帯の約2割（16.7%）が公営住宅または改良住宅に入居**しており、**効率的な管理**が大きな課題。
- 県内市町村では小規模団地が多数あり、**建築技術職員も少ないため、指定管理者制度の活用や建替事業の実施も困難な状況。**
- 県有地と市有地を共同で利用して集約建替を進めることにより、効率的な住宅管理と柔軟なまちづくりのモデルを実現を目指す。**

課題

- 市営住宅の課題
 - ・市内の**公的賃貸住宅比率は全世帯数の16.7%。**
 - ・耐用年数を超過した住戸数は347戸。
 - ・市役所の一般行政職249名中建築職が7名。
 - ・**住宅管理が大きな負担となっており、建替事業の余力がない。**
- 県営住宅の課題
 - ・県営住宅551戸のうち耐用年数が超過した住戸数は327戸。
 - ・**建替事業を進めるための用地確保が困難。**
 - ・御所団地と茅原団地は市街化区域に立地し、利便性が高い。
 - ・秋津団地は市街化調整区域に立地し、土地が広く、京奈和道へのアクセスが良い。

御所市からの提案

- 奈良モデルとして県と一緒に公営住宅の集約化を進めたい**
 - ・御所市内の公営住宅は、市営と県営を合わせて約2,000戸。
 - ・公営住宅世帯の割合が高く、管理運営を支援してほしい。
 - ・今後、市営住宅は集約化等を行い、半分にしようと考えている。
 - ・奈良モデルとして市営住宅の集約化を県営住宅と一緒に考えられないか。

検討の方向性

- 県営住宅用地を活用した**まちのリニューアルを検討。**
- 共同で集約化を図り、**指定管理者の導入を促進。**
- 京奈和道御所IC周辺整備に関する**暮らしの機能の充実**も検討。

